

未来を担う子供たちにより良い学習環境を！ 沼田市の特色を生かした新たな小中学校の“かたち”



沼田市教育機関の適正配置及び設置に関する審議会から、 答申書が教育委員会へ提出されました



「児童生徒数の減少は顕著であり、学校の再編を進めていく必要がある」という委員の意見がある中、学校の望ましい規模や配置について、検討・審議を進めていただきました。

答申書では、**児童生徒数のみにとらわれた再編ではなく、沼田市の良さを生かした、より良い学びの環境づくりも重要である** という内容も加えられています。

Q 答申書は、主にどのような内容ですか



A

適正規模（学級数）や、適正配置（通学時間）の目安を示しています。

基本的な考え方 …… 優先順位を決め、計画的に再編を進める。
成長段階を考慮した、柔軟な適正規模・適正配置に努める。

適正規模 …… 複数学級（1学年2学級以上）が望ましい。
望ましい学級数 ただし、著しく児童生徒数の減少が見込まれる場合は、優先して統合を検討する。

適正配置 …… おおむね45分以内に通学できる範囲が望ましい。
望ましい通学時間 ※スクールバスや自転車通学を含む

適正規模と適正配置の両面から検討し、義務教育学校や小中一貫校、小規模特認校などの研究も必要。

Q 今後、学校再編をどのように進めるのですか

A

答申書を基に、教育委員会で学校再編に係る基本方針を策定した後、地域住民や保護者の皆さまと話し合いを進めながら、実施計画を策定していきます。

より良い学習環境に
したいよね



◎ 詳しくは、市 HP をご覧ください

問合せ 教育総務課総務係 ☎ 内線 3302